

狭山市と近隣市町村とのつながりと合併をめぐる埼玉県内の状況

市町村合併を考える3回のシリーズ、今回は合併について一般的に言われているメリット・デメリットのほか、合併の手続きや特例措置についてお知らせしました。最終回の今回は、合併をより身近に考えていただくために、狭山市と近隣市町村とのつながりと、合併を巡る埼玉県内の状況などについてお知らせします。

こんなつながりがあります・狭山市と近隣市町村

行政間のつながり

行政間のつながり

項目	狭山市	所沢市	入間市	飯能市	日高市	名栗村	川越市ほか
埼玉県西部第一広域行政推進協議会							
埼玉県西部地域まちづくり協議会							
埼玉西部広域事務組合(斎場)							

狭山市と近隣の市町村は、これまでも広域の協議会を設置したり、事務の共同処理を通じてそれぞれにつながりを持ってきています。(上表参照)

●埼玉県西部第一広域行政推進協議会

広域行政を推進するために、地方自治法に基づいて設置された協議会です。10市2町によって構成されています。広域行政圏計画を策定し、これに基づいて圏域の整備に取り組んでいます。

●埼玉県西部地域まちづくり協議会
地方自治法に基づく協議会ではありませんが、協議会を構成する4市(狭山市・所沢市・飯能市・入間市)で、まちづくり計画(ダイヤプラン)を策定しています。そしてこの計画に基づき連携して事業に取り組んでいます。

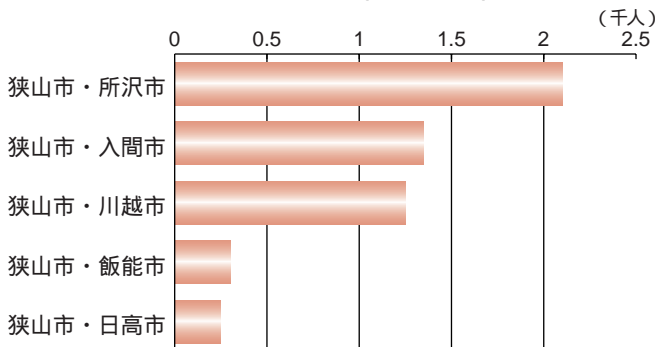
●埼玉西部広域事務組合

一部の事務を共同して処理するために設置した地方公共団体の組合で、3市1村(狭山市・飯能市・日高市・名栗村)で共同して斎場を設置・運営しています。また、2市1村(飯能市・日高市・名栗村)では消防に関する業務を共同して行っています。

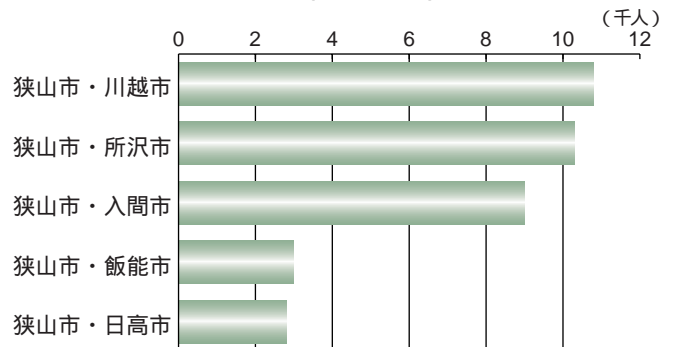
市民生活のつながり

行政間のつながりだけでなく、狭山市民と近隣市の住民は、転出入や通勤などを通じて、近隣市とつながりを持っています。(グラフ1・2参照)

近隣市間の人口異動の状況(グラフ2)



近隣市間の通勤の状況(グラフ1)



合併を巡る埼玉県内の状況

住民投票

合併に対する住民の意向を把握する方法として、通常は、市民意識調査が実施されますが、より広く住民の意向を把握する方法として、住民投票が実施される場合もあります。

上尾市

さいたま市との合併の可否を問う住民投票を平成13年7月29日に実施し、その結果、反対が多数を占めたことから、上尾市はさいたま市と合併しないこととしました。

岩槻市

「春日部市を含む1市3町との合併」「さいたま市との合併」「合併しない」のいずれかを選択する住民投票を平成15年1月26日に実施しました。その結果、さいたま市との合併が多数を占めたことから、岩槻市はさいたま市に合併協議の申し入れを行い、早期に任意の合併協議会が設置されることになりました。

朝霞市・志木市・和光市・新座市

4市の合併の是非を問う住民投票が4月13日に実施されます。

菫蒲町

「久喜市・鷲宮町との合併」「蓮田市・白岡町との合併」合併しないのいずれかを選択する住民投票が4月27日に実施されます。

合併協議会の設置

富士見市・上福岡市・大井町・三芳町

平成12年4月に法定の合併協議会を設置し、同協議会で平成16年10月1日に合併する方針を決めました。また、新市役所の位置は「総合支所方式」を採用し、現在の三芳町役場とする方針を決定しています。

朝霞市・志木市・和光市・新座市

平成13年4月に法定の合併協議会を設置し、同協議会で新市将来構想を策定するとともに、4月13日に住民投票が実施されます。

大利根町・栗橋町

平成14年6月に任意の合併協議会が設置されました。

川口市・蕨市・鳩ヶ谷市

平成14年12月に任意の合併協議会が設置されるとともに、2月に埼玉県より合併重点支援地域に指定されました。

戸田市は、市民意識調査の結果をふまえて、合併協議には加わりませんでした

東松山市・滑川町・嵐山町・小川町・都幾川村・玉川村・吉見町・東秩父村

3月に任意の合併協議会が設置されました。

春日部市・宮代町・杉戸町・庄和町

2月に埼玉県より合併重点支援地域に指定されるとともに、4月に法定の合併協議会が設置されました。

幸手市・茨城県五霞町

本庄市・美里町・児玉町・神川町・神泉村・上里町

加須市・騎西町

熊谷市・大里町・江南町・妻沼町

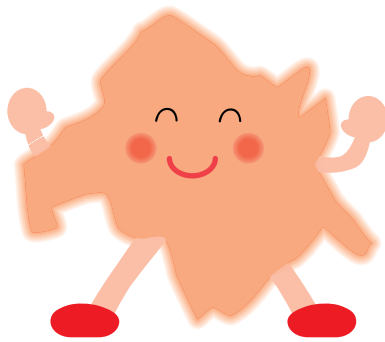
深谷市・岡部町・川本町・花園町・寄居町

久喜市・鷲宮町

4月に法定の合併協議会が設置されました。

合併に関する調査・研究を進めています。この研究会では、市町村合併により期待される効果や懸念される事項、近隣市町村の生活の一体性や行政のつながり、近隣市町村間の行政水準の比較などの検討をふまえて、複数の合併パターンを想定し、それぞれについて検討を行っています。

研究会の研究成果については、広報紙などを通じて市民の皆さんにお知らせする予定です。



3回にわたり、市町村合併についてお知らせしてきましたが、埼玉県内でも合併に向けた動きが活発化している中では、狭山市でも、合併について具体的な検討をするべき状況にもあると考えています。

しかし、合併については、市民の皆さんの意向を尊重して進めるべきであり、市としては、市民の皆さんの間で合併に関する議論が活発化するよう、情報の提供に努めるとともに、時期をとらえて市民意識調査を実施したいと考えています。ぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

狭山市の合併に対する取り組み

●近隣市間の通勤の状況
グラフ1は、狭山市内から近隣市へ通勤している人数と、近隣市から狭山市内に通勤している人数を合計したものです。相手先としては、川越市と所沢市が多くついでに人間市の順になります。

●近隣市間の人口異動の状況
グラフ2は、狭山市内から近隣市へ転出した人数と、近隣市から狭山市内に転入した人数を合計したものです。相手先としては、所沢市が最も多くついでに人間市、川越市の順になります。